

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立栗橋西小学校（埼玉県）

【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【取組の概要】 グーグルサイトを使った個別最適な学びとスライドによる協働的な学び、他者参照

『成果と課題』

グーグルサイトを作成し、授業内で用いたことで、児童がいつでも他者の資料を見て参照する姿がたくさん見られた。特に、「文と文とをつなぐ言葉」を活用する場面では、友達の資料を参考にすることで、全ての児童が工夫した文頭にすることができた。

また、個別最適な学びとして、自身が作成しているスライドに直接書き進めている児童と、教師が作成したワークシートに手書きで書き進めている児童が混在し、最終的には、スライド資料の作成と、作文用紙への原稿づくりを全児童が行うことができた。このスライドと原稿の作成にあたっては、友達とペアや3人組など協働して作成する児童と、一人の力で書き進めていく児童とを混在させたが、一人では作業が困難な児童も、完成までの目標へ到達し、一人で進めた児童は、様々な画像や資料を添付するなどの工夫が見られ、充実した授業を展開できた。

課題としては、ローマ字入力が苦手な児童への対応や、複数人で作成した児童らの、作業負担の均一化が挙げられる。

実践事例 第3学年 国語 「食べ物のひみつを教えます」

